

令和3年度「宇部市男女共同参画推進審議会(第1回)」会議録

〔日時〕 令和3年12月16日(木) 16:30～18:00

〔場所〕 宇部市男女共同参画センター・フォーユー 2階 第3講習室(オンラインを併用)

〔出席〕 委員9名 (会場参加 …………… 鍋山, 阿部, 金子, 久保, 原田, 宮下, 山根)

(オンライン参加 … 小森, 境)

※欠席3名(石橋, 岡崎, 佐伯)

事務局5名(原田(部長), 水津(次長), 片岡(課長), 林(副課長), 上野(主任))

◆開会挨拶(市民環境部長)

◆議題

- ・会長を議長とし、議事を進行。概要は以下のとおり。

(1)令和2年度事業報告及び令和3年度事業の進捗状況について

- ・事務局から、資料に基づき説明。

主な内容

- ・生理用品の配布に関する市の予算はどうなっているか。また今後の(予算的な)方針は。
→〈事務局〉当初、6月補正予算で自主財源約240万円の予算を組み、進めることになった。今年度は試験的に実施したが、ある程度のニーズは把握できたので、この実績分に対応できるほどの予算は要求していきたい。
- ・「イクメン・カジダン養成講座」の参加者の年齢層は。
→〈事務局〉申込時に年齢は不問としていたので、正確には分からないが、概ね20代～30代の方々が多かったように記憶している。
→料理実習などでは若い世代だけでなく、退職後の栄養管理を気にされる年配の方々も参加されると思うので、年齢層に応じて対象者を分けてみるのもよいのでは。
- ・パートナーシップ宣誓制度に対するパブリックコメントの意見の内訳は。
→〈事務局〉176名から217件と大変大きな反響であったが、制度自体については否定的な意見が約8割を占めていた。

(2)「第4次宇部市男女共同参画基本計画」及び「第2次宇部市配偶者暴力等対策基本計画」の素案について

- ・事務局から資料に基づき説明。素案に対する修正意見や気づき等について意見を伺った。
(※_____は、今後、調整が必要なもの。)

主な内容

◆第4次宇部市男女共同参画基本計画(素案)

◇P.11 計画の体系について

- ・「基本目標I」の「誰もが～」については、別にLGBTに配慮した形で言っているわけではな

いので、全く違和感はない。

→変更は加えないことで一同了承。

- ・「基本目標Ⅰ」の「3. 妊産婦や乳幼児等への支援」は、「基本目標Ⅱ」に含めたほうがよいのでは。

→「基本目標Ⅱ」へ移すことで一同了承。

- ・「基本目標Ⅰ」の「4. 男性による家庭生活への参画促進」は、「基本目標Ⅲ」のほうがよいのでは。全体のボリュームやバランスを考慮すると、このままでも差し支えないとも思うがどうか。

→変更は加えないことで一同了承。

◇P.15 自治会について

- ・資料(文教民生委員会での意見等)について訂正あり。

→〈事務局〉E議員の「自治会に関しては～」は、「(市の)審議会に関しては～」に訂正させていただく。

- ・自治会に若い世代が参入する機運が高まれば別だが、年配層の多い現在の自治会では男女の役割分担が旧態依然としているので、女性の参画はまだ難しいのでは。

- ・自治会はさまざまな問題を抱えているので、会長にはある程度経験豊かな年配者の方が適任だとは思いますが、だからと言って女性が無理だとは思わない。

- ・具体的な数値ではなく、「今よりも増やす」、「女性に積極的に参加してもらおう」などの言葉で表現する方法もある。目標(値)を掲げることで、女性の登用に対する仕組みをどう考えていけばよいか、といった「気づき」を与えることができるので、意義はあると思う。

- ・自治会は任意団体ではあるが、地域を担う重要な組織なので、市の計画で目標を掲げていくことに問題はないと思う。

◇P.31 【19】子どもの居場所づくりについて

- ・重点項目の「7. 生活に困難を抱えた方への支援」に分類されているが、違和感はないか。

→〈事務局〉担当者である「こども・若者応援課」にも意見を聞いてみて、必要があれば修正等を加えたいと思う。

◆第2次宇部市配偶者暴力等対策基本計画(素案)

◇計画名について

- ・F議員から提案のあった「パートナー」という言葉が使えるのであれば、パートナーシップ宣誓制度を導入した宇部市としても、その考え方に一貫性が出てきてよいと思う。

- ・DVは決して配偶者だけの問題ではない。むしろ近年は配偶者以外の問題のほうが多くなってきているので、そのような名称を検討してもよいのでは。

→「第2次宇部市パートナー暴力等対策基本計画」とすることで一同了承。

→計画名の変更に伴い、本文についても、「配偶者→パートナー」へ修正がなされると思うが、変えてはいけない(変えられない)箇所もあると考えられるので、一つ一つ丁寧にチェックしてもらいたい。

◇基本理念について

- ・「人権尊重」を先に出すと少し違和感があるが。

- ・DV対策のための計画として考えると、先に「パートナー等暴力」を出すほうがよいのでは。

→「パートナー等からの暴力を許さず、人権が尊重される社会の実現」とすることで一同了承

承。

◇P.25 アンケート結果より、警察署以外の相談先が周知されていないことについて

- ・DV防止啓発カードの配布などを通じて、DVセンターをPRする努力はしていると思うが、警察しか知らないと答える人が多いこの結果に正直驚いている。もう少し費用対効果のある周知方法を取り入れることはできないか。
- ・(人の場合、)DV被害はプライベートな問題であり、誰にでも相談できるわけではないが、民生委員などにDVについて正しく学んでもらい、被害者に気づいた際に相談先を紹介する、ということはあると思う。
 - 別の質問で、「どこ(誰)にも相談しなかった」との回答が最も多かったのも同じような理由だと思う。
 - 回答者に(DVとは縁遠い)年配層が多かったのも要因としてあるかもしれない。
 - P.13 施策事業【4 相談窓口の周知の強化】を見直し、今まで届いていなかった層へ周知できるような表現となるよう、もう一ひねり加えてみてはどうか。

◇P.39 アンケート結果より、人工妊娠中絶に係る費用面の支援について

- ・日本女性財団で実施している支援事業などを参考に、宇部市でもぜひ検討してほしい。

(3) 計画改定に係る今後のスケジュールについて

- ・事務局から、資料に基づき説明。特に意見等はなし。
 - 新たな修正意見・気づき等があれば、12/22(水)までに事務局へ提出していただくことで一同了承。
 - 〈事務局〉パブリックコメントについては、広報1月号でも募集を行う予定としているが、原稿〆切の関係で、現在の計画名のまま(「パートナー暴力等」ではなく、「配偶者暴力等」)で広報には掲載されるので、ご了承願いたい。

(4) その他(意見交換等)

- ・特に意見等はなし。

以上